



PILLAR REPORT

第63期第2四半期営業のご報告
平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

Contents

株主の皆様へ	1-2
第63期第2四半期連結業績のポイント	3-4
株式情報	5
会社情報	6



代表取締役社長

岩波 清久

経営理念

1. 住みよい地球と豊かな社会環境づくりに貢献します。
2. 独創的で高品質な製品を提供し、お客様にとってかけがえのない企業を目指します。
3. 法令・社会規範を順守し、公正で健全な企業活動を行います。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

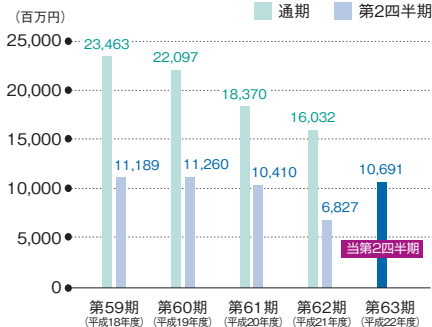
当社第63期第2四半期(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)営業のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、「お客様満足」が企業活動の原点にあり、お客様から高い評価と信頼を得ることが持続的な成長と収益の実現を可能にし、それが企業価値の向上と株主の皆様との利益につながるものと認識しております。

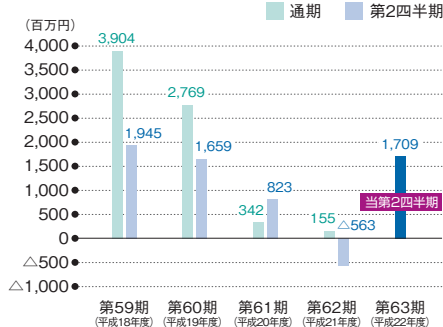
そのため、創業以来追求してきた「流体の漏れを止める技術」を基本技術とし、材料技術、設計技術、精密加工技術など当社グループ固有の流体制御技術を活用して独創的で高品質な製品を提供し、省資源と安全でクリーンな地球環境づくりに貢献するとともに、お客様にとってかけがえのない企業を目指すことを基本方針としております。

また、事業環境の変化に迅速に対応し、お客様の要望に応える新しい価値を提案・提供できる体制の構築を目指すとともに、法令や社会規範を順守し、公正で健全な企業活動に

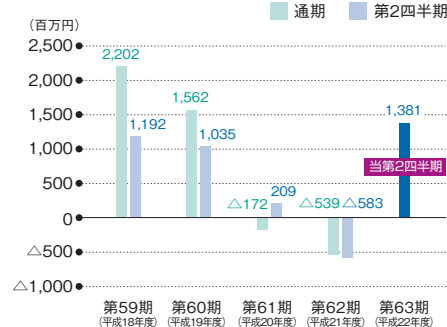
● 売上高



● 経常利益



● 四半期(当期)純利益



努め、良き企業市民として豊かな地域社会の発展に貢献することを目指しております。

営業の概況

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日)のわが国経済は、新興国需要の拡大に支えられ、一部に持ち直しの動きが見られるものの、円高やデフレの進行など企業業績に与える不安材料も多く、また、消費刺激策の反動減懸念などから、景気の先行きは依然として不透明感たどよう状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、お客様のニーズに応える迅速な新製品開発やエンドユーザー営業の強化など国内外一体となった販売活動に努めてまいりました。産業機器関連事業のシール製品は設備投資の下げ止まりや海外需要の積極的な取り込みに努めたことにより、また電子機器関連事業の半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品は半導体市況の活況を受け、売上高、利益とも前年同期を上回ることができました。

この結果、当第2四半期の連結業績につきましては、売上高106億91百万円(前年同期比56.6%増)、経常利益17億9百万円(前年同期は経常損失5億63百万円)、四半期純利益13億81百万円(前年同期は四半期純損失5億83百万円)となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、産業機器関連事業は52億84百万円、電子機器関連事業は53億61百万円、その他部門(不動産賃貸)は45百万円となりました。

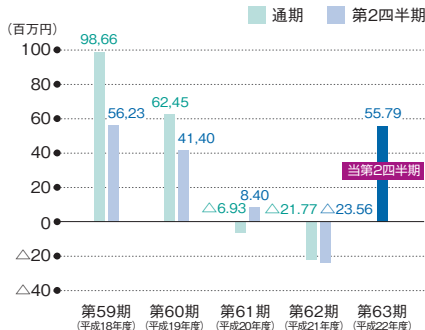
通期の見通し

当社グループの平成23年3月期通期の業績見通しにつきましては、半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品(ふっ素樹脂製品)の受注増加が見込まれることや原価改善への取り組みを強化したことから、売上高210億円、営業利益29億円、経常利益29億円、当期純利益21億円を予想しております。

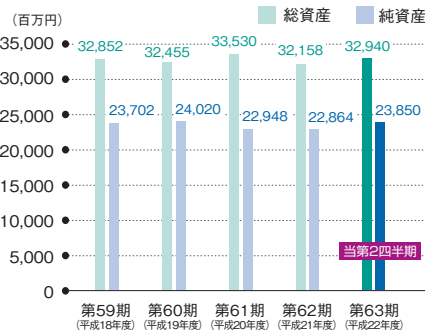
株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

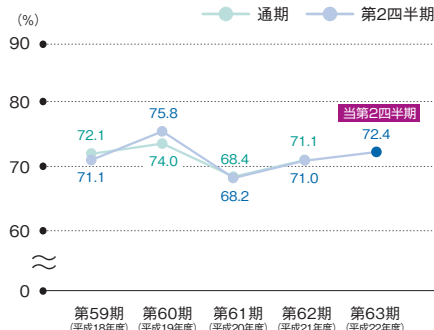
● 1株当たり四半期(当期)純利益



● 総資産・純資産



● 自己資本比率



第63期第2四半期連結業績のポイント

製品部門別の概況(連結)

電子機器関連事業

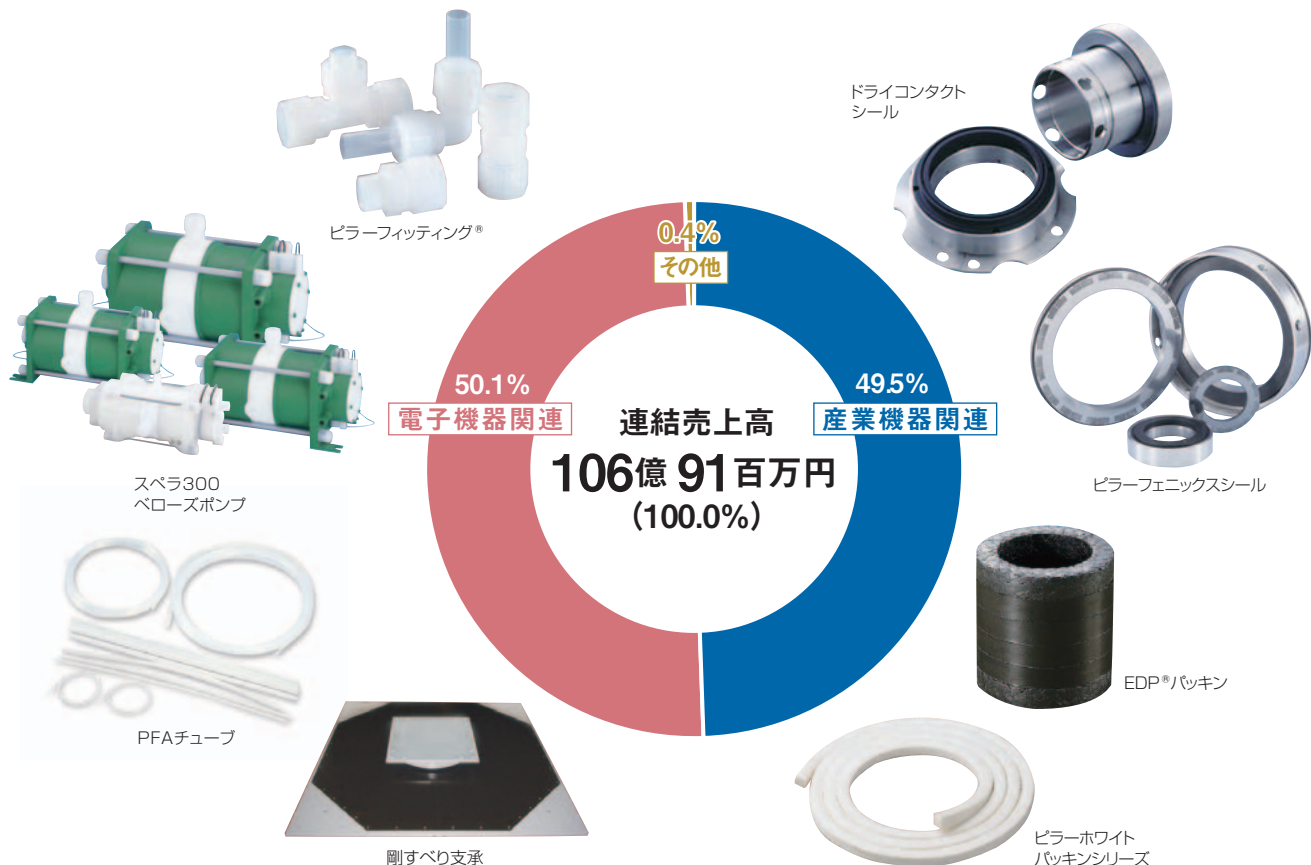
53億61百万円

その他部門(不動産賃貸)

45百万円

産業機器関連事業

52億84百万円



セグメント 変更の注記

従来、「製品部門別の概況」の記載は、「メカニカルシール製品部門」、「グランドパッキン・ガスケット製品部門」、「ピラフロン製品部門」、「その他部門(不動産賃貸)」に区分して行っておりましたが、当期(第63期)から事業活動を展開する市場に応じて、「産業機器関連事業」、「電子機器関連事業」、「その他部門(不動産賃貸)」の3つに区分する方法に変更しました。

なお、「産業機器関連事業」は電力、石油精製・石油化学、自動車、船舶、食品など幅広い分野で採用されているシール関連製品等を、「電子機器関連事業」は半導体・液晶、情報・通信、化学、医薬品などの分野で採用されている主にピラフロン製品等樹脂関連製品を生産・販売しています。

連結経営業績

前第2四半期：平成21年4月1日～平成21年9月30日
当第2四半期：平成22年4月1日～平成22年9月30日 (単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期	増減
売上高	6,827	10,691	3,864
営業利益	△393	1,763	2,157
経常利益	△563	1,709	2,272
四半期純利益	△583	1,381	1,964

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。)

ポイント

半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品の受注が増加したことおよび原価改善への取り組みを強化したことから、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前年同期を大きく上回りました。

連結貸借対照表(要約)

当第2四半期末：平成22年9月30日現在 前期末：平成22年3月31日現在 (単位：百万円)

科目	当第2四半期末	前期末	増減	科目	当第2四半期末	前期末	増減
流動資産	17,818	16,010	1,807	流動負債	5,544	5,001	543
固定資産	15,122	16,148	△1,025	固定負債	3,545	4,292	△747
				純資産	23,850	22,864	986
資産合計	32,940	32,158	782	負債純資産合計	32,940	32,158	782

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。)

総資産のポイント

総資産は、売上債権の増加等により前期末比7億82百万円増の329億40百万円となりました。

負債のポイント

負債に関しましては、有利子負債(リース債務は除く)は、前期末比3億8百万円減の30億49百万円となりました。

純資産のポイント

純資産は、四半期純利益等により前期末比9億86百万円増の238億50百万円となり、自己資本比率は72.4%(前期末は71.1%)となりました。

連結キャッシュ・フローの状況

前第2四半期：平成21年4月1日～平成21年9月30日
当第2四半期：平成22年4月1日～平成22年9月30日

(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,847	1,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,303	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	622	△425
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,115	4,773

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。)

ポイント

営業活動においては税金等調整前四半期純利益等により10億13百万円となり、固定資産の取得や長期借入金の返済による支出などもありましたが、現金及び現金同等物は前期末比3億32百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は47億73百万円となりました。

連結の範囲

国内

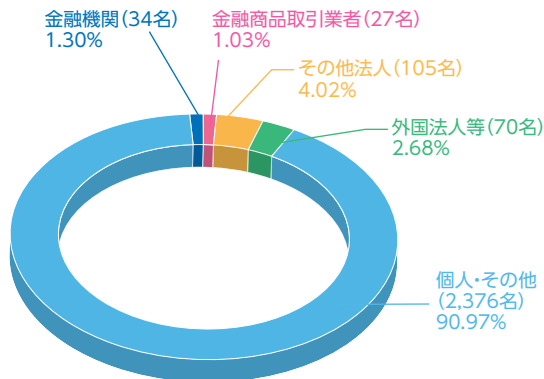
ピラーサービス販売(株) 中部ピラーサービス販売(株) 東京ピラー(株) 北陸ピラー(株)
ピラーエンジニアリングサービス(株) 関東ピラーエンジニアリングサービス(株)
山陽ピラーエンジニアリングサービス(株) 日高精工(株) エヌビイ工業(株) 日本ピラー九州(株)*1
エヌビイ産業(株)*1 ピラーテクノ(株)*1

海外

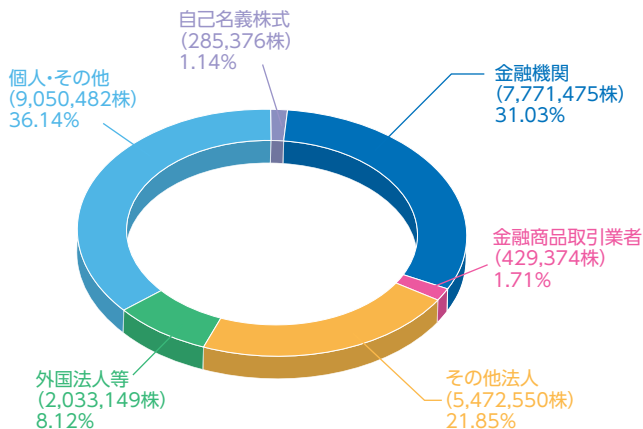
日本ピラーシンガポール(株) 台湾ピラー工業(株)
日本ピラーアメリカ(株) 蘇州ピラー工業有限公司
上海ピラートレーディング有限公司*1
韓国ピラー工業(株)*2

(注) 無印：連結子会社 *1：非連結子会社で持分法非適用会社 *2：関連会社で持分法非適用会社

所有者別株主分布 合計:2,612名



所有者別株式分布 合計:25,042,406株



株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	25,042,406株
株主数	2,612名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,859	7.42
有限会社ロックウェーブ	1,020	4.07
日本ピラー工業取引先持株会	872	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	872	3.48
明治安田生命保険相互会社	700	2.79
株式会社みずほ銀行	692	2.76
株式会社三井住友銀行	692	2.76
岩波 清久	688	2.74
ダイキン工業株式会社	400	1.60
野村信託銀行株式会社(投信口)	369	1.47

会社概要

(平成22年9月30日現在)

商号	日本ピラー工業株式会社 NIPPON PILLAR PACKING CO.,LTD.
本社	大阪市淀川区野中南2丁目11番48号
創業	1924年(大正13年)5月
設立	1948年(昭和23年)5月
代表者	代表取締役社長 岩波 清久
資本金	49億66百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部 大阪証券取引所 市場第1部
従業員数	517名
事業内容	メカニカルシール、グランドパッキング・ガasket、 ピラフロン(ふっ素樹脂製品)等 流体制御関連機器製品の製造販売
ホームページアドレス	http://www.pillar.co.jp/

取締役・監査役および執行役員

(平成22年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	岩波 清久	執行役員	石黒 宏孝
取締役 専務執行役員	坪根 巖	執行役員	青山 博
取締役 執行役員	大岩 輝雄	執行役員	清水 正夫
取締役	中川 威雄*	執行役員	大崎 眞仁
常勤監査役	真鍋 賢司	執行役員	後藤 幸生
監査役	門屋 明**	執行役員	岩波 嘉信
監査役	森 恵一**	執行役員	川上 恵一
		執行役員	勝見 僚一
		執行役員	星川 郁生

* 取締役 中川 威雄氏は、社外取締役であります。

** 監査役 門屋 明、森 恵一の両氏は、社外監査役であります。

主要事業所

(平成22年9月30日現在)

本社	〒532-0022 大阪市淀川区野中南2-11-48 TEL(06)6305-1781
三田工場	〒669-1333 兵庫県三田市下内神字打場541-1 TEL(079)567-2121
福知山事業所	〒620-0853 京都府福知山市長田野町2-66-3 TEL(0773)27-7871
九州工場	〒861-1116 熊本県合志市福原1-25 TEL(096)292-4511
東京支店	〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2(富国生命ビル) TEL(03)3508-1611
横浜支店	〒231-0012 横浜市中区相生町6-113(桜木町ANビル) TEL(045)201-1361
名古屋支店	〒461-0005 名古屋市東区東桜1-4-13(アイ高岳ビル) TEL(052)962-7861
京都支店	〒600-8482 京都市下京区堀川通綾小路下る綾堀川町293-1(堀川通四条ビル) TEL(075)353-4335
大阪支店	〒532-0022 大阪市淀川区野中南2-11-48 TEL(06)6302-5201
神戸支店	〒673-0898 明石市樽屋町1-29(日工住友生命ビル) TEL(078)914-6654
広島支店	〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(住友生命広島ビル) TEL(082)568-2541
九州支店	〒861-1116 熊本県合志市福原1-25 TEL(096)292-4511

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会 6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告をもって行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
ホームページアドレス<http://www.pillar.co.jp/>

単元株式数 1,000株

証券コード 6490

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
TEL 0120-094-777(通話料無料)

【ご注意】

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)では、お取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。